

貸借対照表

株式会社G x P

令和 2年 8月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 281,472,324 】	【流 動 負 債】	【 219,836,788 】
現金 及 び 預 金	12,710,699	買 掛 金	40,476,793
売 掛 金	203,066,518	短 期 借 入 金	15,000,000
仕 掛 品	53,722,309	未 払 金	80,557,269
前 渡 金	11,209,875	未 払 費 用	5,293,717
仮 払 金	346,057	未 払 法 人 税 等	17,879,300
前 払 費 用	335,772	未 払 消 費 税 等	28,486,400
未 収 入 金	81,094	預 り 金	6,126,000
【固 定 資 産】	【 12,883,705 】	賞 与 引 当 金	26,017,309
(投 資 そ の 他 の 資 産)	(12,883,705)	負 債 合 計	219,836,788
繰 延 税 金 資 産	12,883,705		
		純 資 産 の 部	
		【株 主 資 本】	【 74,519,241 】
		資 本 金	10,000,000
		(利 益 剰 余 金)	(64,519,241)
		利 益 準 備 金	2,500,000
		そ の 他 利 益 剰 余 金	62,019,241
		繰 越 利 益 剰 余 金	62,019,241
		純 資 産 合 計	74,519,241
資 産 合 計	294,356,029	負 債 ・ 純 資 産 合 計	294,356,029

第2期 個別注記表

- I. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。
- II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
1. 資産の評価基準及び評価方法
 - 棚卸資産の評価基準及び評価方法
 - 仕掛品 個別法による原価法
 2. 引当金の計上基準
 - 賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。
 3. その他の計算書類作成のための基本となる重要事項
 - 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

III. 貸借対照表に関する注記

関係会社に対する金銭債権債務	
金銭債権	197,352,812 円
金銭債務	105,473,994 円

IV. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高	
売上高	43,889,918 円
外注費等	471,539,761 円

V. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当事業年度の末日における株式の種類及び数
 - 普通株式 1,000 株
2. 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当金	基準日	効力発生日
令和2年8月28日 取締役会	普通株式	30,000,000 円	30,000 円	令和2年1月31日	令和2年8月31日

VI. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳 (円)

繰延税金資産	
労働保険料	109,132
未払事業税	2,113,207
未払事業所税	312,071
賞与引当金	8,999,387
賞与引当分法定福利費	1,349,908
繰延税金資産合計	<u>12,883,705</u>

VII.	1株当たり情報に関する注記	
	(1) 1株当たり純資産額	74,519円24銭
	(2) 1株当たり当期純利益	55,991円12銭
VIII.	当期純利益	
	55,991,117円	